

第76回 CPD セミナー・公開講座(香川会場)

1. セミナーの概要

2021年12月11日(土)、高松市のサンイレブン高松にて、第76回CPDセミナー・公開講座を開催した。四国本部としてはコロナ感染予防対策として、セミナー参加者全員に体温や体調状況他、確認する問診票の提出をお願いし、全員から提出を頂いたことで参加者の安全と安心を確保することとした。四国は約一カ月コロナ感染者がほぼいない中、久しぶりの集合行事となった。



写真1 中川委員長講演

表1 プログラム

<p>1. CPD セミナー(14:10~15:10) 演題：「新たな技術士 CPD 更新制度について」 講師：中川裕康氏（日本技術士会技術士制度検討委員会委員長）</p> <p>2. 新合格者の紹介(15:10~15:15) 合格者の自己紹介と今後の抱負</p> <p>3. 公開講座(15:25~17:10) 演題：「広がるドローンの活用世界」 講師：田辺広幸氏（田辺テクニカルサポート代表取締役）</p>

セミナー・公開講座参加人数は58名で、昨年と同セミナー・公開講座より大幅に増えている。

2. CPDセミナー

CPD セミナーでは(公社)日本技術士会より技術士制度検討委員会の中川委員長を招いて新しいCPD管理制度について説明していただいた。

技術士は高い技術的能力・技術者倫理を担保するため、また技術士法において継続的な資質向上(Continuing Professional Development)が求められている。また国際的に通用する資格とするため

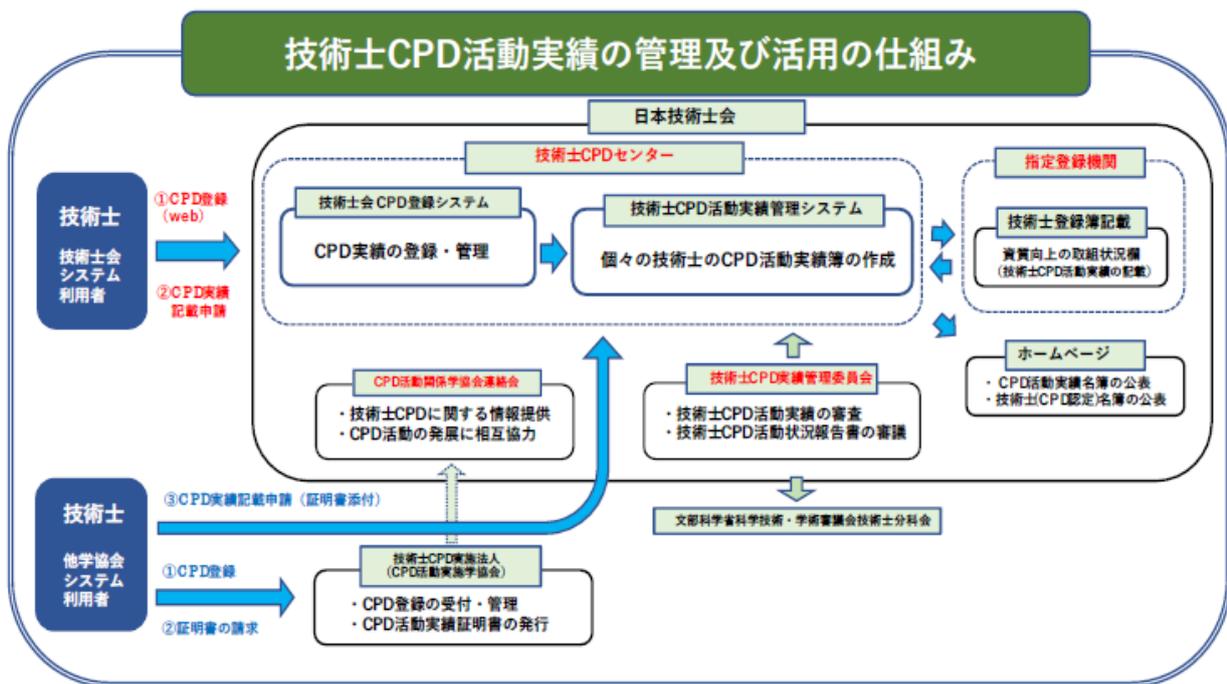


図1 CPD登録・証明の全体像

(公社)日本技術士会 HP より

にも CPD は重要であり、その活動実績を求められることが多くなってきている。今年 4 月の文部科



写真 2 田辺様の講演風景

学省通達により、技術士の CPD 活動管理の実施主体が技術士会と規定され、管理運営制度を構築したものである。

簡単に説明すると日々の CPD 活動は登録システムから web 登録し、実績証明書の発行などが今回整備した実績管理システムで行うようになることのであった。

技術士という資格の価値を高め、国際的に通用させるためにも必要な取り組みであり、個々人が積極的に参加して価値ある仕組みにしなければならなかったと感じた。

3. 公開講座

公開講座では田辺テクニカルサポート(株)代表取締役の田辺様よりドローンの活用について紹介があった。田辺様は企業で働く技術者であったが、退職されドローンに関するサービスを行う会社を立ち上げられた。ドローンの活用は近年急激に拡大し、法整備が追い付いていない状況であるが不慣れた人の操作による様々な事故・トラブルが生じる中、規制は厳しくなる傾向にあるようである。

飛行原理・操作に関する説明は非常に科学的でわかりやすく興味を持てるものであった。飛行機とドローンで制御方式が異なるというのは興味深く、ほぼ自動で飛行しているとはいえ、不測の事態の対応には苦勞するのではないかと感じた。

また、ドローンの活用は空撮だけでなく、各種

調査、物資の輸送、災害対策、農業、教育と多くの可能性があると感じた。

ドローンによる業務は法的手続き・リスク管理を考えると今後プロフェッショナルに委託するほうが多くなるのではないかと感じた。気軽に相談し、ドローンの活用で新サービス、業務の効率化にトライするのが良いと思った。

4. 新合格者紹介

今回は令和 2 年度の合格者から 4 名の方が参加された。これからの活躍が楽しみな方ばかりであり、また技術士会での活動も期待したい。



写真 3 新合格者紹介

5. おわりに

新型コロナも幾分小康状態で、久しぶりに集まってセミナー・公開講座を行うことが出来た。年末の忙しい中参加された技術士に感謝申し上げたい。

丸山 正 (まるやま ただし)
技術士 (建設部門)
四国本部事業委員 (香川地区幹事)
青葉工業株式会社